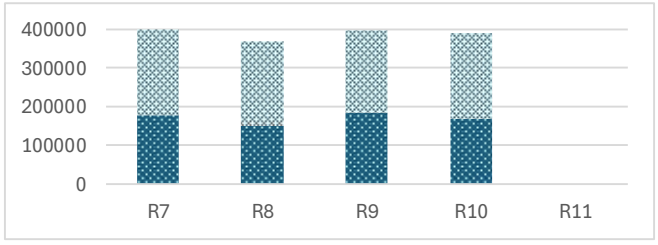
資料２－２

施策概要シート

将来都市像の実現に向けた目標	1　いつまでもみんなが元気でいられるまち
施策分野	1−1　健康づくり・健康増進
めざす姿	1−1−1　一人ひとりに健康づくりが定着し、元気で暮らしている

めざす姿の総コスト（1−1−1　一人ひとりに健康づくりが定着している）



	R7	R8	R9	R10	R11	
事業費	178,851	150,438	185,517	169,435		千円
人件費	228,251	219,224	211,651	221,825		千円
市民一人あたり	1,697	1,530	1,635	1,601		円

概要

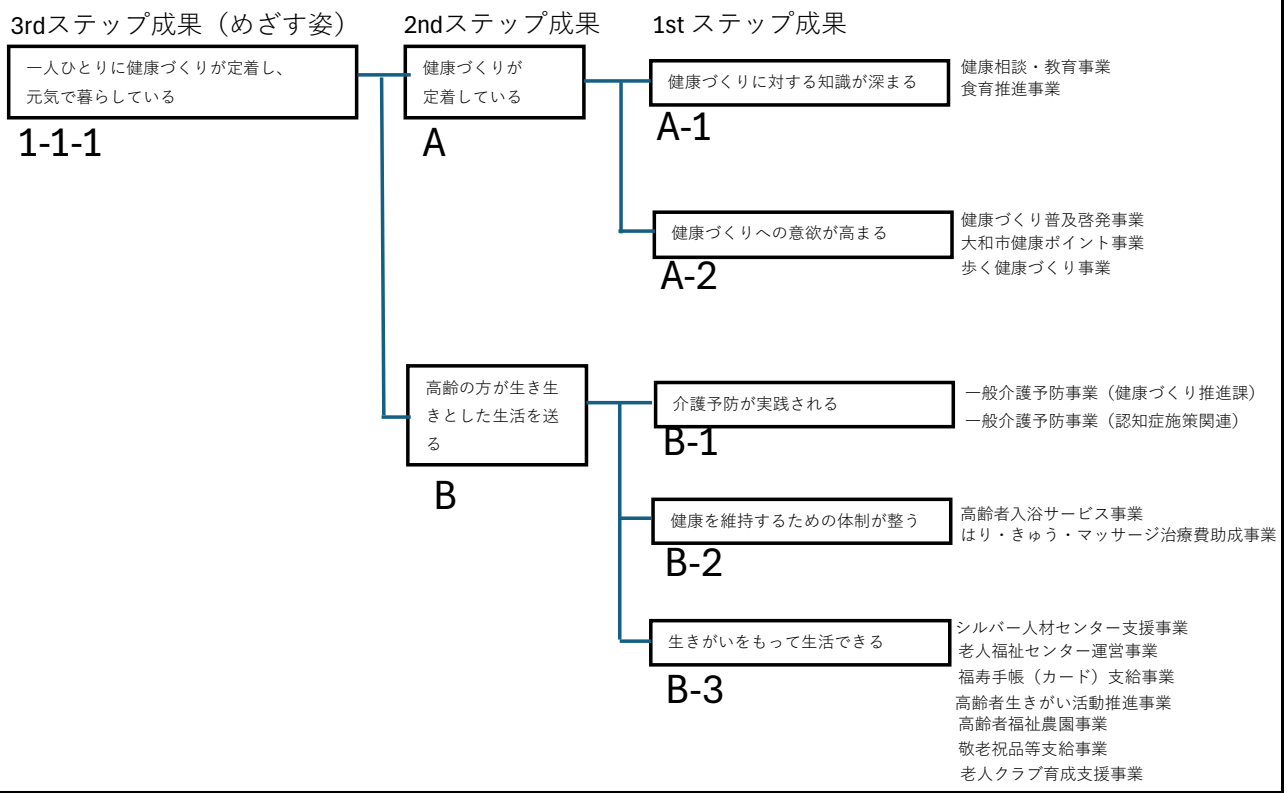
■現状と課題

・人生100年時代において、健康寿命を延ばし、健康格差を縮小するためには、市民一人ひとりが、ライフステージを踏まえ自ら健康づくりを行うことや、疾病予防、介護予防に取り組むとともに、未病の段階で対策することを意識して生活することが大切です。
・要介護状態の予防や医療費抑制のためには、市民が生活習慣病やフレイルの予防に取り組むことが重要です。
・高齢の方が健康的な暮らしを持続するためには、生きがいや人とのつながりを持つことが重要です。

■施策の方針

・市民が自らの健康状態を把握し、適度な運動、バランスの良い食生活、十分な睡眠などを心がけて生活できる環境を整備します。
・生活習慣病の発症や重症化予防など、生活習慣病対策を推進します。
・介護予防に関する普及啓発や取り組みを推進します。
・食育を推進するとともに、普及啓発や取り組みを推進します。
・高齢の方の生きがいづくりや自己実現などに関するニーズに応える取組を進めます。

ロジックモデル（効果発現経路）



成果指標

3rdステップ成果 指標（めざす姿）

1-1-1	健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差（男性）
	健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差（女性）
	-
	-
	-
	-

2ndステップ成果 指標

A	自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合
	-
	-

B	高齢の方が地域で生き生きと活動していると思う市民の割
	-
	-

1st ステップ成果指標

A-1	健康関連イベントの参加人数	食育推進に関わるボランティアの人数	-
A-2	健康関連イベントの参加人数	健康普及員の活動日数	-
B-1	介護予防セミナー受講者数	-	-
B-2	入浴サービスの延べ利用者数	-	-
B-3	シルバー人材センター会員数	生きがい活動の参加者数	福祉農園の利用者数

事業データシート

事業群一覧（事務事業評価）

2nd ステップ成果　A　健康づくりが定着している

1st ステップ成果	A-1 健康づくりに対する知識が深まる

関連事務事業

事務事業	9293	健康相談・教育事業	対象	市民
目的	保健師や管理栄養士等による相談・教育・保健指導を実施することで、生活習慣病等の予防を図り、いつまでもみんなが元気でいられるまちの実現を目指します。			
手段手法	・生活習慣病予防・重症化予防、フレイル予防等を目的に、個別に保健指導、相談、健康教育を行います。 ・２４時間健康相談を委託で実施します。 ・健康度見える化コーナー等で、健康相談・健康教育ををを実施します。 ・熱中症予防の普及啓発、ひと涼みスポットを設置します。 ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。			
活動指標1	健康教育参加人数			

区分	R6	R7	R8	R9	R10
目標	13000	13000	13000	-	-
実績	9370	8580	-	-	-
決算額	9,400	8,877	-	-	-

事務事業評価	
事業の成果	B
事業費の方向性	減少の見込み
人工の方向性	増加の見込み

事務事業	9276	食育推進事業	対象	市民
目的	食育に関する施策を実施することで、食生活や健康に関する意識の醸成を図り、豊かな心を育むとともに、心身の健康の維持増進や生活の質の向上へつなげます。			
手段手法	・関係団体等と連携し食育イベント等（フェアや講座など）を開催し、食育を推進します。 ・食に関する正しい知識の普及啓発を行います。 ・食生活改善推進員（ヘルスメイト）の養成講座を開催します。また、大和市食生活改善推進団体なごみ会の地域での活動を支援します。 ・市内飲食店事業者等と連携し、健康的な食環境づくりの支援を行います。 ・若い世代の健康課題改善に向けた取組を行います。			
活動指標1	養成講座開催数			

区分	R6	R7	R8	R9	R10
目標	8	5	5	-	-
実績	8	5	-	-	-
決算額	1,478	1,353	-	-	-

事務事業評価	
事業の成果	A
事業費の方向性	概ね同水準を予定
人工の方向性	増加の見込み

事業群における財源内訳・人件費

区分	R7	R8	R9	R10	R11
国庫補助金					
市債					
その他特財					
一般財源					
人件費					

事業データシート

事業群一覧（事務事業評価）

2nd ステップ成果　A　健康づくりが定着している

1st ステップ成果	A-2 健康づくりへの意欲が高まる

関連事務事業

事務事業	9277	健康づくり普及啓発事業	対象	市民
目的	地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員の支援を行うことで、地域の健康づくりを推進し、市民の健康増進を目指します。			
手段手法	・健康普及員連絡協議会において、市域全体や地区ごとの活動の検討を行い、ウォーキングや健康測定会の開催、健康普及員だよりの発行等の健康普及活動を行います。 ・市民まつりや食育フェア等のイベントに参加し、効果的に普及啓発活動を行います。			
活動指標1	健康普及員地区活動			

区分	R6	R7	R8	R9	R10	事務事業評価	
目標	35	35	35	-	-	事業の成果	B
実績	49	47	-	-	-	事業費の方向性	概ね同水準を予定
決算額	1,955	1,833	-	-	-	人工の方向性	増加の見込み

事務事業	40043	大和市健康ポイント事業	対象	20歳以上の市民
目的	健康づくりに係るポイント事業を行うことで、自主的に健康づくりに取り組む機会の創出を図り、いつまでもみんなが元気でいられるまちの実現を目指します。			
手段手法	特定健診や各種がん検診、健康に関する教室、イベントなど、市が指定する健康づくりに係るプログラムへの参加に対してポイントを付与し、一定数のポイントに到達した応募者の中から抽選で景品を交付します。			
活動指標1	ポイント対象事業数			

区分	R6	R7	R8	R9	R10	事務事業評価	
目標	410	420	430	-	-	事業の成果	A
実績	410	429	-	-	-	事業費の方向性	概ね同水準を予定
決算額	4,850	3,697	-	-	-	人工の方向性	増加の見込み

事務事業	40791	歩く健康づくり事業	対象	市民
目的	歩くことによる健康づくりを行うことで、市民の健康増進及び介護予防等の推進を図り、いつまでもみんなが元気でいられるまちを目指します。			
手段手法	・市民に歩くことを意識付けし、歩くことの効用について、普及啓発を図ります。 ・歩くことによる健康づくりの普及定着を図るため、イベントを開催します。			
活動指標1	やまとウォーキンピック参加者数			

区分	R6	R7	R8	R9	R10	事務事業評価	
目標	4000	1500	800	-	-	事業の成果	A
実績	1570	765	-	-	-	事業費の方向性	概ね同水準を予定
決算額	1,559	1,059	-	-	-	人工の方向性	増加の見込み

小施策における財源内訳・人件費

区分	R7	R8	R9	R10	R11
国庫補助金					
市債					
その他特財					
一般財源					
人件費					

成果指標シート

成果指標

1st ステップ成果　指標

A-1　1st ステップ成果 健康づくりに対する知識が深まる						
成果指標名	区分	R7	R8	R9	R10	R11
健康関連イベントの参加人数	目標	1200	1250	1250		
	実績	1132	1024			
食育推進に関わるボランティアの人数	目標	57	57	60		
	実績	48	52			

A-2　1st ステップ成果 健康づくりへの意欲が高まる						
成果指標名	区分	R7	R8	R9	R10	R11
健康関連イベントの参加人数	目標					
	実績					
健康普及員の活動日数	目標					
	実績					

2nd ステップ成果　指標

A　2nd ステップ成果 健康づくりが定着している						
成果指標名	区分	R7	R8	R9	R10	R11
自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	目標	53	54	55	56	57
	実績	48	47			

3rd ステップ成果（めざす姿）

3rd ステップ成果（めざす姿）いつまでもみんなが元気でいられるまち						
成果指標名	区分	R7	R8	R9	R10	R11
健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差（男性）	目標	1.78	1.76	1.74	1.72	1.7
	実績	1.83	1.8			
健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差（女性）	目標	3.65	3.63	3.61	3.59	3.57
	実績	3.74	3.77			

評価シート

内部評価

A-1　1st ステップ成果 健康づくりに対する知識が深まる	
後続アウトカムに対する効果	Ⅰ：効果が十分にある（でている）と考えられる
インプット（事業費・人件費）の方向性	②：配分や手法などの変更予定はないが、減少を見込む
1st ステップ成果/ 後続アウトカムへの効果の分析	
より推進すべき取組	
改善/見直しをすべき取組とその策	

A-2　1st ステップ成果 健康づくりへの意欲が高まる	
後続アウトカムに対する効果	
インプット（事業費・人件費）の方向性	
1st ステップ成果/ 後続アウトカムへの効果の分析	
より推進すべき取組	
改善/見直しをすべき取組とその策	

Ⅰ：効果が十分にある（でている） と考えられる
Ⅱ：効果はあると考えられ、より向上する可能性がある
Ⅲ：効果が少ないと考えられ、改善をめざす
Ⅳ：効果が認められないため、抜本的な見直しが必要である
Ⅴ：効果に関わらず、実施する必要がある

①：配分や手法などを工夫し、減少をめざす
②：配分や手法などの変更予定はないが、減少を見込む
③：配分や手法などを工夫し、現状と同程度をめざす
④：配分や手法などの変更予定はなく、現状と同程度を見込む
⑤：配分や手法などを工夫するが、増加を見込む

外部評価

3rd ステップ成果（めざす姿）いつまでもみんなが元気でいられるまち	
重要度	
進捗状況	
総計審コメント	